

筑西市誕生記念

# 日本芸術院所蔵による洋画名品展

しもだて美術館では、筑西市誕生を記念し『日本芸術院所蔵による洋画名品展』を開催します。日本を代表する優れた芸術家を顕彰するために設けられた日本芸術院。今回の展覧会では、筑西市名誉市民で文化勲章受章者である森田茂先生の作品など、日本芸術院所蔵作品を中心に洋画の名品45点を紹介します。



森田茂作『黒川能』昭和44年(1969年)日本芸術院所蔵(日本芸術院賞受賞作品)

4月23日土、6月12日

時間・午前10時〜午後6時

入場は5時30分まで

料金・一般500円

(板谷波山記念館との共通入館券)

高校生以下は無料

主催・しもだて美術館

筑西市・筑西市教育委員会



しもだて美術館  
Shimodate Museum of Art  
筑西市丙372 (アルテリオ 3階) TEL23-1601

編集後記



咲き誇る桜の花のように、筑西市の未来が素晴らしいものでありますように。

今回『広報筑西ピープル』創刊号の製作スタッフとして、関わったことを大変嬉しく思います。表紙の写真は、春の芽吹きを待つ関城の里山で撮影したものです。里山を元気に駆けまわる子どもたちの姿を見て、素晴らしい筑西市を創っていくことが、私たち大人の役目なのかな。そう感じました。(染)

この創刊号が皆さんの手元に届く頃、明野公民館の桜は見ごろとなっているでしょう。6年前、私の広報初取材は、この満開の桜のもとで演じられた明野新能。夜間撮影のため写真は失敗。その悔しさが以後の仕事の支えになりました。人事異動により広報を卒業します。長い間ありがとうございました。(将)

医療技術の進歩はめざましいですね。先月、生まれて初めてインフルエンザにかかりました。高熱に加え体中がすごく痛い。先生助けてと病院にいきました。インフルエンザに薬はないと信じていた私。しかし、発病後48時間以内だったら特効薬が。おかげで、翌日には元気に。技術の進歩に脱帽です。(公)

『広報筑西』創刊号は、合併前から4市町の広報担当職員が集まって作ったものです。記念すべき創刊号を担当できて、うれしく思っています。新市誕生にともなう人事異動により広報の編集業務から離れることになりましたが、今後も市民の皆さんから愛される広報であってほしいと願っています。(龍)